

学 会 記 事

◎常議員会（昭.32.4.1）出席者：平山会長，種谷，米田副会長，粟津，川口，斎藤，藤田の各常議員，委任状 29 通，計 36 で常議員会成立，那波，真田，辰馬，草間，平井，青木の各前会長，島崎名誉員，石田中部支部長，東，飯吉，高坂，逸見，米屋の各理事。

議事：1) 定款第 4 条「この学会は事務所を東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地に置く」とあるを「この学会は事務所を東京都新宿区四谷 1 丁目に置く」と改めることを承認。

2) 土木学会規則一部改正について

土木学会規則第 12 条第 2 項「特別員 1 級年額 10000 円以上」とあるを昭和 32 年 4 月 1 日から次のとおり改めることを承認。

- 1 級 A 年額 50000 円以上
- B “ 30000 円
- C “ 10000 円

- 2 級 “ 6000 円（据置）
- 3 級 “ 4000 円（ “ ）

3) 昭和 32 年度事業計画を東総務部長説明の上承認。

本部事業計画

4 月 関東地区常議員半数の改選，5 月 第 2 回水理講演会（5 月 13 日の予定），定例常議員会，6 月 通常総会，第 12 回年次学術講演会，見学会（北海道において），8 月 夏季講習会（水理公式集，海岸保全施設設計便覧），9 月 橋梁構造工学研究発表会，第 7 回応用力学連合講演会，第 1 回地震工学講演会，10 月 第 1 回材料試験連合講演会，11 月 秋のエキスカカーション，海岸工学講演会（名古屋において），12 月 会員名簿発行，3 月 常議員会

その他随時講演会，映画会を開催のこと。

各種委員会

- 会誌編集委員会（毎月 1 回）
- 会誌編集小委員会（ “ ）
- 会誌抄録委員会（ “ ）
- 論文集編集委員会（隔月各部会および部会長会）
- 水理委員会：研究，講演会，年報および論文集の編集
- 水理公式集小委員会：水理公式集の改訂
- コンクリート示方書改訂委員会：コンクリート示方書解説の審議
- プレストレスト コンクリート委員会：一応指針を発刊したがなお常置して研究を進めること
- 土木工学叢書委員会：叢書の企画
- 製図規格委員会：各部門の基準を研究，本年度内に発電水力，河川，砂防等を完成の予定
- 海外連絡委員会：国際会議との連絡
- 橋梁構造委員会：日本学術会議国内連絡委員会の分科会として活動
- 土木賞委員会：土木賞の詮衡
- 海岸工学委員会：研究，講演会
- 海外保全施設小委員会：海外法にいう保全施設の設計基準の制定
- 波力小委員会：波力波圧に関する研究
- 耐震工学委員会：耐震構造物の研究
- 大正以降土木史編集委員会：各委員原稿執筆中
- 土木用語常識事典委員会：用語選定中
- 土木振興対策委員会：土木技術の振興策協議，まず技術士法に対し土木設計管理基準を定めるために小委員会を設置する予定

- 国鉄委託 { 大阪駅沈下対策委員会
- コンクリート鉄道構造物委員会
- 溶接鋼鉄道橋示方書委員会

4) 昭和 32 年度予算案を飯吉経理部長説明の上承認

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I. 会 費	17 715 000	I. 事 務 費	8 086 000
II. 政府補助金	200 000	II. 会 議 費	280 000
III. 諸刊行物収入	5 928 000	III. 負 担 金	140 000
IV. 雑 収 入	2 570 000	IV. 支 部 交 付 金	1 020 000
		V. 事 業 費	16 283 000
		VI. 施 設 管 理 費	150 000
		VII. 積 立 金	300 000
		VIII. 予 備 費	154 000
合 計	26 413 000	合 計	26 413 000

5) 土木会館建設予算の追認を得た。

1. 建設費 8 260 000 円， 2. 付帯工事費 730 000 円， 3. 諸調度品費 650 000 円
2. 諸雑費 270 000 円，合計 9 910 000 円。

6) 各支部申出の昭和 32 年度事業計画および予算を承認報告事項：1) 土木賞受賞者決定について（前月号参照）

2) 会館建設経過の概要を東理事から説明，3) その他図書室の整備，前会長の写真を掲げること等の希望があつた。なお支部長会を引き続き開催の予定であつたが，出席者少数のため，平山会長と石田中部支部長，島崎名誉員と土木学会の振興対策について懇談した。

◎第 12 回理事会（昭.32.4.17）出席者：平山会長，種谷副会長，米田（代），東，飯吉，高坂，平井，丸安，中安，逸見，米屋の各理事。議事：1) 3 月中の行事その他について報告，2) 次期理事候補について，3) 名誉員推挙候補者について，4) 昭和 31 年度決算案の根本方針について，5) 夏季講習会に“改訂水理公式集および海岸保全施設の設計便覧”等を取りあげること，6) 土木設計管理小委員会を土木振興対策委員会の下部組織として設置すること。

委員：中安米蔵，豊田栄一，加納治明，田中倫治，仁杉 巖，畠山 正，久保義光，増山辰夫，近藤利八，塙 恒夫，八十島義之助，和山和夫，河野康雄，大西清一，吉田 赴，吉田良三，委員長は第 1 回委員会の際決定のこと。

7) 海岸保全施設小委員会委員に渡辺 隆君を追加依頼，

8) 日本工業標準調査会臨時委員推薦について

基本部会量記号専門委員会委員 井口昌平君
“ 標準数 “ 田原保二君

9) 原子力委員会設置について（委員長 福田武雄君，委員に理事一同と岡本舜三，神谷貞吉の両君，幹事に白石直文君を依頼）

10) 耐震工学研究発表会を次のとおり計画する。

①日時：昭和 32 年 9 月 10，11 両日，②会場：東京都内，③講演を 5 月号会誌で募集し，6 月 10 日までに申込みを受付 7 月 15 日までに前刷原稿を提出すること，④シンポジウム式とし，同一部門をまとめて discussion を行う，⑤特別講演を依頼する。

11) 土木学会会議室使用料を次のとおり定めた。

	午前 9~12	午後 12~17	夜間 17~21
大 会 議 室 (60 人程度)	700 円	1200 円	1600 円
第 1 会 議 室 (35 人 “)	400	700	900
第 2 “ (20 人 “)	300	500	700

ただし冬季は暖房費加算

12) 会員入退会承認, 13) その他。

◎各種委員会

1. 会誌編集委員会(昭.32.4.22)出席者:糸川委員長猪股,岡崎,菊池,奥田(代吉岡),久保,栗栖,坂野(代福田),小林,林,森,後藤(東北)各委員,深谷幹事,岡本編集部員。協議事項:1)投稿原稿報告,2)原稿審査報告および新規受付原稿審査委員の決定,3)依頼原稿状況,4)退任委員の後任について,5)6月号登載原稿を次のように予定した。

田原保二:合成材について,扇田彦一:上水道送配水管路の設計上の諸問題,鈴木雅次:土木責任論,藤森謙一:欧米の高速自動車道路の維持について(2),田中五郎:溶接講座(3)。

2. 会誌編集小委員会(昭.32.4.5)出席者:糸川委員長,奥田(代),安藤両委員,深谷幹事,岡本編集部員。協議事項:5月号編集について最終的打合せを行った。

3. 会誌抄録委員会(昭.32.4.9)出席者:八十島委員長,加藤(代垣中),久野,小池,嶋,松本,二階堂(代丸山),西沢(代矢島),山田,湯浅,渡部各委員,山口幹事。協議事項:1)5月号抄録5編を予定,2)5月号文献目録を審議,3)委員交代について,4)その他。

4. 第5回海岸保全施設小委員会(昭.32.4.4)出席者:本間委員長,渡部委員,岸,有賀,中本,白石,堀川,福地,石綿,久松の各幹事。議事:1)7月末を目途として海岸保全施設設計便覧を作製すべく幹事会を重ねているが,これに対する意見交換を行った。2)便覧の原案を幹事が極力いそいで(5月初旬)作製する。3)幹事に東大渡辺助教を追加して貰いたいとの希望は了解。同幹事会(昭.32.4.月3,6,22日)同便覧作製打合せ(4月8,10,11,12日)それぞれ開催。

5. 第11回耐震工学委員会(昭.32.4.11)出席者:沼田委員長,東,岡本,神谷,小西,近藤(代),田原,友永,最上の各委員,久保幹事。議事:1)耐震工学現況調査の結果報告,2)原子炉の耐震問題調査について近藤委員から提案,3)学会内に原子力調査委員会を設置することを要望,4)9月初旬応力連合講演会に引続いて耐震工学講演会を開催するよう準備すること,5)次回を5月17日(金)に予定し,若戸橋の実験報告をする予定。

6. 第57回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.32.4.12)出席者:吉田委員長,国分,友永,山内の各委員,三浦,大山,小檜山,宮田,川口,深谷,松本の各幹事。議事:第2章版の第3原案の審議,第58回同委員会(昭.32.4.16)出席者:吉田委員長,国分,友永,高坂,坂本の各委員,梅木,三浦,大山,天野(光),天野(礼),小檜山,宮田,川口,深谷,松本の各幹事。議事:3章はりの第三原案の審議。第59回同委員会(昭.32.4.30)出席者:吉田委員長,国分,宮沢(代高橋),坂本(代堀内),高坂(代天野),大槻(代大山)の各委員,

三浦,山ノ内(代宮田),梅木(代小檜山)川口,深谷,松本の各幹事。議事:第4章柱の第3原案の審議。

7. 第3回土木振興対策委員会(昭.32.4.15)出席者:谷口委員長,平山会長,東,大島,金子,河口,高橋,比企,町田,松野,山本,吉田の各委員。議事:1)谷口委員長から前回記録について説明の後,平山会長から多少訂正カ所を指摘された,2)土木設計管理小委員会を設置することは原案に賛成,第1回委員会の際,平山会長および谷口委員長出席の上委員長を決定する。なお法規委員会の解消については小沢委員長に平山会長が事情を説明する。3)原子力対策委員会設置について東委員から説明し各委員から種々意見があつた。4)その他(a)わが国土木技術者分布状況調査,(b)寒冷地工事が予算関係で不利な実情調査等について平山会長から提案,種々意見の交換があつた。

◎日本学術会議関係

1. 第24回総会 4月24日~26日開催するとの案内に接した。

2. 溶接研究連絡委員会 岡田委員長から3月18日開催の溶接シンポジウムに対する援助に対する謝辞に接した。

3. 材料試験連合講演会職員打合せ(昭.32.4.9)出席者:浜田委員長,山内,米屋,国分の各運営委員,造船,土木,機械,金属,建築,航空,材料試験,鉄鋼,非破壊検査,熔接の各学協会職員。議事:1)講演会趣意書と募集要項を詳細打合せた,2)ポスターの図案を協議し所用数を15日までに土木学会へ申出ること。

4. 第7回応力連合講演会職員打合せ(昭.32.4.10)出席者:造船,土木,機械,建築,航空,応物の各学会職員。議事:講演募集要項について協議。

5. 文部省科学研究費配分打合せ(昭.32.4.9)出席者:矢野,平井両委員,文部省広瀬事務官,東大(八十島),生研(福田),早大(光元),中大(林),名工大(荒井),京大(小西),阪大(田中),阪市大(岡部),徳島大(星),九大(田中),東北大(河上)。議事:矢野委員から本年度科学研究費の状況を説明,平井委員が土木学会理事として会長に代つて挨拶,総合研究,試験研究の配分案を説明の上,各個研究費の配分方法を打合せ各地区別に協議の上決定した。

その他

1. 土木学会会館落成披露会(昭.32.4.2)快晴に恵まれ定刻3時前から招待者が続々つめかけ,立派に完成した会館と庭園を視察し,3時からパーティーに移るや大小会議室も一杯となつた。3時20分ころから,東部長の司会で会長の挨拶について,金子委員長の会館建設の経過報告があり,引続いて高野建設KK社長高野政造君に平山会長から感謝状を授与した。この間招待者は続々つ

めかけ立錐の余地なきまでに堂にあふれ、非常に盛大であつた。5時までの参会者 207 名。

会長 平山復二郎

高野建設株式会社

社長 高野政造殿

土木学会会館落成披露会場において平山会長より感謝状を受ける高野氏



金子委員長経過報告要旨

- 1) 借用土地面積：2 341 m² (708.1 坪)，2) 地代年額：259 860 円，3) 公園通路使用料（埋設物）年額：6 000 円，4) 借用開始：昭和 31 年 4 月 1 日，5) 建物面積：本館 440.7 m² (133.3 坪)，物置 11.53 (3.49 坪)，6) 建物工事着手：昭和 31 年 7 月 31 日，同竣工：昭和 32 年 2 月 28 日，7) 建物工事費：8 260 000 円，8) 同請負業者：高野建設株式会社，9) 造園工事費：260 000 円，10) 同請負業者：東光園緑化株式会社，11) 建設委員会構成：委員長 金子源一郎，委員 市村益夫，金子 柁，佐藤九郎，沢 勝蔵，塩沢 弘，滝尾達也，立花次郎，中路誠三（柴橋種造），町田 保，渡辺寅雄，幹事 五十嵐醇三，12) 委員会：第 1 回を昭和 29 年 3 月 23 日に開催し，今日まで 12 回開催。

感謝状

今回土木学会会館建設工事の請負施工にあたり貴殿の献身的御努力に対し衷心より感謝の意を表します。

昭和 32 年 4 月 2 日

社団法人 土木学会

2. 都市不燃化同盟 4 月 24 日柏市防火建築帯を見学。
3. 関東地区常議員半数改選有志打合せ（昭.32.4.19）出席者：本間，田原，高野（代），中安，森，米屋の各氏。議事：関東地区常議員 19 名中約半数の 9 名を改選するについて候補者を推薦することとした。
4. 文部省国立競技場設立協議会建設部会走路 特別委員会（昭.32.4.25）試験走路の経過および走路決定について協議された。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 役員会（昭.32.4.8）出席者：鷺尾支部長以下 22 名。議事：1) 東北支部総会の開催並びに役員の見直しについて，2) その他（Duke 教授講演会，31 年度会計決算報告等）。
2. 中部支部 昭和 32 年度支部長に名古屋市交通局長，石田二郎氏が決定したから会長から委嘱方要請。
3. 関西支部 主事 中川辰夫氏（大阪市土木局庶務課長）は 4 月 4 日付大阪市生野区長に栄転された。支部事務は従来どおり土木局庶務係で扱う予定との連絡があつた。
- 第 4 回役員会（昭.32.4.22）出席者：浦上支部長，高西，福留，鈴木（代安藤）各元支部長，中田，久保田，田杉，松田，吉田（代清水），春田（代），粕谷（代赤沢），橋，天方（代石田），米谷，赤尾，井内の各商議員，近藤幹事長，松下，松尾の各幹事。議事：1) 昭和 32 年度予算について，2) 支部総会を 5 月 10 日開催について，3) 名誉員候補者として永井，福留，高西，橋本の各元支部長を推薦すること。
4. 西部支部 昭和 31 年度事業報告並びに決算報告があつた。

昭和 32 年 4 月分入退会報告（昭 32.4.1~4.30）

1. 入 会 246 名（特 2 級 2，特 3 級 2，正 43，准 20，学生 179）
2. 退 会 14 名（正 9，准 5）
3. 転 格 568 名（特 1 級より特 3 級へ 1，准より正へ 124，学生より准へ 443）

会 員		現 在			数（昭.32.4.30 現在）			合 計	増 加
名誉員	賛助員	特別員 1 級	2 級	3 級	正 員	准 員	学生員		
20	30	30	77	124	6 903	5 364	1 036	13 584	232

正員 荒木英次郎君 大阪府中河内郡柏原町法善寺 2 の 7 の自宅にて 昭和 32 年 3 月 26 日逝去 享年 34 才
 正員 寺井三郎君 建設省信濃川工事々務所勤務 昭和 32 年 3 月 12 日逝去 享年 64 才

昭和 32 年 5 月 10 日印刷

昭和 32 年 5 月 15 日発行

土木学会誌 第 42 卷 第 5 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社 技報堂 東京都港区赤坂溜池 5 番地

編集兼発行者 中川一美

発行所 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷 1 丁目

定 価 100 円

振替 東京 16828 番

電話 (35) 5138・5139 番